



高山西ロータリークラブ

# 例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 斎藤 章
- 幹事 井辺 一章
- 会報委員長 伊藤 松寿



「飛騨高山手筒花火 2011」 蜘蛛 康介

## <会長の時間>

真実のほどは不明ですが、緊急情報としてお伝えしても善いかと思ひ会長の時間としてお話しします。



「**エレニン彗星**」アメリカ 90%  
 今年の 8 月末から 11 月 11 日まで、特に 9 月、10 月は、「絶対」に天災に要注意。それはその月日にあわせて人工地震や人工的な大台風の可能性もありそうだからです。

2010 年 12 月 10 日にロシア人の民間天文学研究者のレオニード・エレニンさんによって発見された彗星がエレニン彗星と呼ばれているものです。

それは最近の大地震が、この星と太陽や太陽系惑星などと直列した前後におきているというので問題になり出したのです。

具体的には、2008 年 2 月 20 日のインドネシアのマグニチュード (以下 M と書きます) 7.4 から 2011 年 3 月 11 日の日本の M9.0 までの間の世界でおきた M6 以上の地震のほとんどが、直列の日かその前後だということです。少し実例をあげます。

- ・ 2008 年 2 月 20 日 エレニン・地球・太陽の直列  
インドネシア M7.4
- ・ 2008 年 2 月 25 日 エレニン・地球・太陽の直列  
インドネシア M7.2
- ・ 2008 年 5 月 12 日 エレニン・地球・海王星の直列  
中国 M7.9
- ・ 2009 年 7 月 15 日 エレニン・水星・地球の直列  
ニュージーランド M7.8
- ・ 2009 年 9 月 9 日 エレニン・太陽・地球の直列  
サンホラ島 M8.1
- ・ 2010 年 2 月 27 日 エレニン・地球・太陽の直列  
チリ M8.0
- ・ 2010 年 3 月 9 日 エレニン・地球・海王星の直列  
インドネシア M7.2
- ・ 2011 年 3 月 11 日 エレニン・地球・太陽の直列  
日本 M9.0 ということです。

この直列の目がいまのところ、次ぎの月日におこることが分っていると発表されています。

2011 年 8 月 31 日、9 月 6 日、9 月 25 日、10 月 8 日、11 月 11 日、12 月 4 日、12 月 25 日です。

それだけではなく、今年 9 月 10 日にはエレニンが太陽にもっとも近づきます。9 月 20 日には、エレニンと太陽の最小角度が 19 度になります。10 月 11 日は、エレニンが地球に非常に近づきます。10 月 17 日は、エレニンが地球にもっとも近づきます。約 3400 万 km 強です。10 月 20 日には、エレニンが地球軌道に進入します。11 月 2 日には、地球がエレニンの尾の中に入ります。

詳しくは NASA 宇宙局広報部に聞けば教えてくれるようですが、NASA はすでに全社員とその家族に具体的に警告しております。ともかく 8 月 31 日～11 月 2 日は何がおこるか分からないと考えて、注意していた方がよいようです。9 月 8 日 (太陽暦で 10 月 4 日) 前後は要注意です。どこへ逃げても仕方がないとも言えます。

日本は大丈夫。世界的にはアメリカがキビシイと出る。

■ H23 年 8 月 ～ 12 月 波動的に日本倒産 …… 有り得ない! H24 年中 全くありえない

## 「惑星 X」

エレニンもですが 9.11 の惑星 X の最接近においても同様の対策が必要です。

惑星 X とは、我々の太陽系に存在する大きいながらも未知の惑星を指す一般用語である。古代シュメール人にはニビルの名で知られたこの星は、地球の何倍もの大きさで、およそ 3600 年という長い周期の軌道を動いていると言われる。この星が太陽系に再接近するのは 2012 年頃と予測されるが、2012 年という期日は、マヤ暦が終わる周期とほぼ一致している。惑星 X とは何か? 彗星かも知れないし、不惑星か、あるいは太陽の伴星で、恒星になりきれなかった褐色矮星なのかもしれない。惑星 X の探索は、基本的に 1781 年の天王星の発見に遡る。多くの古代書や世界各地の先住民の神話、言い伝えにも描かれるなど、この惑星が還ってくるという予言は数多い。

# 例会報告

## <幹事報告>

### ◎RI日本事務局より

・9月のロータリーレートについて 1ドル78円(現行80円)

### ◎高山ロータリークラブより

・高山3RC合同ガバナー公式訪問について  
日時 9月15日(木) 12:30~13:30  
会場 高山グリーンホテル 天山の間

### ◎濃飛分区分区ガバナー補佐、IM実行委員長より

・濃飛分区分区IM開催のご案内  
日時 10月2日(日)  
会場 飛騨・世界生活文化センター  
時間 登録受付 11:30~、点鐘 12:30  
懇親会 16:15~

### ◎下呂ロータリークラブより

・第26回飛騨地区IAC合同研修会のご案内  
日時 9月19日(月・祝) 13:00~15:30  
場所 下呂交流会館 アクティブマルチスタジオ 下呂市森  
登録料 1名500円 クラブ負担金10,000円  
参加要請者 会長、幹事、IA委員長、IA副委員長

### ◎高山ロータリークラブより

・高山5クラブ親善ゴルフ大会のご案内  
日時 9月25日(日) 12:12スタート(アウト・イン同時)  
場所 飛騨高山カントリークラブ  
表彰式 高山グリーンホテル 18:30~  
参加費 8,000円 \*プレー代は各自清算  
申込締切 9月9日(金)

### ◎(財)米山梅吉記念館より

・秋季例祭のご案内  
日時 9月17日(土) 14:00~  
会場 米山梅吉記念館ホール 静岡県駿東郡長泉町

## <例会変更>

高山 … 9月15(木)は、12:30~高山グリーンホテルに  
高山3RC合同ガバナー公式訪問例会のため変更  
9月29日(木)は、定款により休会  
高山中央 … 9月12日(月)は、15日(木) 12:30~  
高山3RC合同ガバナー公式訪問例会のため  
高山グリーンホテルに 変更  
9月19日(月)は、法定休日(敬老の日)ため休会  
美濃加茂 … 9月9日(金)は、8日(木) 12:30~  
ガバナー公式訪問4クラブ合同例会のため  
シティホテル美濃加茂 に 変更  
9月16日(金)は、お月見夫人同伴例会のため  
18:00~ シティホテル美濃加茂 に 変更  
9月23日(金)は、法定休日(秋分の日)ため休会  
可茂 … 9月7日(水)は、8日(木) 12:30~  
ガバナー公式訪問4クラブ合同例会のため  
シティホテル美濃加茂 に 変更

9月14日(水)は、早朝清掃例会のため、  
7:30~ 美濃太田駅北側公園 に 変更  
可茂 … 9月1日(水)は、夜間例会のため変更  
9月8日(木)は、12:30~シティホテル美濃加茂に変更  
ガバナー公式訪問4クラブ合同例会のため  
9月15日(木)は、南富川RC交流計画のため変更  
9月22日(木)は、南富川RC交流事業のため変更  
加茂東 … 9月1日(木)は、ピアガーデン例会のため  
18:30~ シティホテル美濃加茂 に 変更  
9月8日(木)は、12:30~シティホテル美濃加茂に変更  
ガバナー公式訪問4クラブ合同例会のため

## <受贈誌>

財団法人米山梅吉記念館(館報 Vol8)、四日市西RC(創立40周年記念誌)、加茂東RC(会報、活動計画書)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	37名	6名	43名	43名	100.00%
本日	40名	—	40名	43名	93.02%

## <本日のプログラム>

### 会員増強委員会



#### 委員長 阪下 六代

本日は増強委員の方々に「自分にとってのロータリー」または「会員増強にかける想い」をテーマにお話しただく事になっております。

アラフォー代表として駒手さん、アラフィフの遠藤さん、アラ還の堀川さんの順でお願いします。



#### 駒手 康介

私がここ高山西ロータリークラブに入会させていただいて、早3年となります。

入会当初は、「ロータリークラブ」という名前は知ってはい

たものの、内部についての事柄についてほとんど知らないままの状態、ただ毎週の例会に参加させていただきただけのものでした。そしてとにかくたった週一回の例会は緊張の連続で、着なれないスーツにネクタイ、そしてバッチ。時間厳守というプレッシャー。当たり前のことではあったにしても、入会当初の私と言うのは、その一つ一つに対し何かこれまでの自分以上の自分を演出しなければならぬといった強迫観

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

## 例会報告

念に捉われていたように思います。ただし、その中で救いであったのは、諸先輩方の暖かい優しさであります。最年少でということもあったと思いますが、何かにつけ声を掛けていただき、「大丈夫か？やっつけられるか？」といったお言葉は何気ないつもりのお声であったにしても、私にとってはとても大きなものでした。そして私の中で大きな心境の変化をもたらしてくれたのが、「写真係」という仕事を与えていただいたことです。私にとってのそれは、この高山西ロータリークラブにおけるある種のポジションであり、自分の中での存在価値を見いだせる仕事でありました。これを機に大きく気持ち的なものが変わっていききました。

私にとっての「写真係」はまさに精神的な拠り所になっています。趣味が講じてこのお仕事をいただけたわけですが、そのおかげで毎週の例会、各イベントにおいての自分の立ち位置、役割が明確になったことは本当にありがたいことです。よくみなさんに「大変だな、がんばってな。」と声を掛けていただきます。たしかに大変ですし、撮り外さないようにというプレッシャーはあります。しかしもとカメラが好きなので、楽しみながら撮らせていただいております。そして少しずつですが、ロータリーとはということについても理解出来てきたことで、その一つ一つの意味を考えながら色々なイベントに参加できるようになったことが、私にとって大きな変化であると言えます。

そして例会出席を重ねるたびに、少しずつ少しずつ内情や皆さんの顔ぶれや個性、また多方面に渡るクラブの活動内容が分かってくるにつれ、私の中での「ロータリークラブ」という存在が変わっていったように思います。それは何やら仰々しく形式ばったお堅いお偉いさんが集まっているという印象があったクラブではなく、皆さんがそれぞれにロータリークラブに対するプライドがあり活動・行動しているのがみえ、ロータリアンになろうとしているように見え始めたことです。それは皆さんがロータリアンではないという意味ではありません。そもそもロータリアンというものは「なる」ものではなく、「なろう」と努力をする人たちを指すように感じ始めたということです。ロータリアンとは全てのロータリーの精神世界に悟りを開いたといったステージの上の存在ではなく、ロータリーの掲げる奉仕の精神を理解しようと努力し、その行動に誇りと責務を持ち活動する同志であり、それは形あるもののように見えて形のないもので、常に時代と共に進化し変化していくもの。ロータリアンの精神が、助け合う平和な世の中の確立へと寄与することが大前提にあるならば、それは私自身の会社経営における理念としても共有していくべき精神であると感じています。事実、ロータリーの綱領からなる目的を紐説けば、専門職業を越えた見地からも掲げるべき経営理念に通じるところがそのほとんどあり、商売とは

所詮人と人との繋がりが社会というループの中で還元され廻り廻るものであることを考えれば、理念の中に信念を持ち商売に勤しむ私たち全てがロータリアンの精神を学ぶべきであるように感じます。会員増強委員となり今後活動していく中で思うところは、本来の会員増強の目的主旨とは外れてしまうのかもしれませんが、これから経営者として頑張っていこうという同世代の方々に会員になってもらい、ロータリーの精神を共に学び刺激し合えるような同志を増やしていければという思いに尽きます。そしてそれが長いスパンで考えた時に、10年、20年先の高山西ロータリークラブの将来あるべき姿となり、私にとってのロータリークラブがより有意義なものになっていくと思います。



遠藤 隆浩

おかげさまで入会させていただいて、10年になります。当初は、大変、心細かったんですが、皆様に助けていただいてなんとか続いていま

す。小森さんの「はじめ一カ月は僕が隣にすわってあげるよ」というお言葉は今思うと本当に有難いものだったんだなあと思います。

私は西ロータリークラブに感謝していることが多々あります。30も半ばを過ぎて実家に帰り高山で税理士をはじめました。私は本来口べたで中々思ったことを人前でうまく話すことができません。それと人づきあいがどちらかというと苦手で、まして年配の経営者といった人たちと接することもあまりありませんでした。職業からそれは大変ハンディになります。新入会員スピーチで30分ほど時間をもらっておきながら、結局5分ぐらいで話がついてしまったのを今でも憶えています。西クラブには話の名手のかたが何人かみえます。皆さん話し方にそれぞれ味があります。そういったお話を聞いているうちに私もなんとか下手ながらも話ができるようになってきたのではないかと思います。また皆さんと接するうちにこちらが話していけばちゃんと返してもらえるんだなあということが解りまして、なんとか経営者の方々とも前よりはお付き合いができるようになってきました。

あたりまえなんだろうが、世の中ですると大変なことがいろいろあってなかなか自分の思うようにはいきません。

そういった中で週に一回の例会にでますと、何か気持ちが新たになることがありまして、生きるリズムを作らせていただいています。ありがとうございます。



## 例会報告



堀川和士

### 「ロータリーとの出会い episode 1」

高山西ロータリークラブに厄介になって、まる5年。会社を創業は、先日タオルをお配りしたとおり、20年がたった訳ですが、出来ることなら創業時点から出来るだけ早く西クラブに誘ってもらってれば早くから社会にもっと、何か出来たなあと残念に思いますが、ロータリーの存在自体を知りませんでしたから仕方ありません。ロータリークラブを知りえたのは、3ヶ月前に亡くなられた岩田勇氏との交流からでした。18年前からの、ご存知のようにとっても良い釣り仲間でした。5年前新会員スピーチの続きの話になりますが、釣りとと言っても半端の釣りではなく、その時にも紹介しました小笠原諸島や沖縄、南西諸島の与那国島、オーストラリア・グレートバリアリーフでの超大物との格闘の釣りでした。先月小笠原諸島は世界遺産に登録されたので、無人島に上陸したり、海亀のサシミを食べたりはもう出来ないと思います。海亀の肉は馬刺しと魚の中間のような味と歯ざわりで大変ウマイ刺身でした、思い出してもよだれが出そうです。小笠原諸島・与那国島合わせて8回ほど行っている訳ですが、岩田勇さんと同行する時の仕掛けは全部私が製作して渡していました。マッチの軸ほどあるフロロカーボンの糸に人間の口には入らないようなデカイ針を結び車と工場の柱に繋いで、何処で切れるか強度試験をした位ですで大変な仕掛け作りでした。仕掛け作りは釣りをしている場面に思いを馳せて、なんと言っても一番楽しい時間なのにそれを人に任せるような方でしたので、決して悪口ではございませんが、死人に口無しと申しますから、何でも言えますが、釣り自体あまり上手な方ではなかったもので、高級魚というか旨い魚はあまり釣っていた記憶がございません。それで私が、カンパチやハタなど次々高級魚を釣り上げる中、時たま、青やらグリーン、どぎついピンク色の亜熱帯の名も分からない魚や、凶暴なサメ、おとなしいネコザメ、気持ちの悪いグロテスクなエイなども釣れてきて、ほころうとすると岩ちゃんが「おい、ほかるなヨ、オレが持って帰るで！」と言うので「何にするんえな、こんなもん！」と尋ねると、岩ちゃんは「おりの友達に食わせるんやさ！」との返答でした。正直ひどい物食わせるんやなあー、もしかしたら「ゲテモノ好きの友達がおるんやろかなあ」と思いましたが「料理は誰がするんやな？」と聞いたら、グリーンホテルでパーティをして料理すると聞いて益々驚きました。後で聞いた話ですが、ホテルで小笠原の「くさや」を焼いて、ホテル中「ウンコ」臭くなり、えらいひんしゅくをかかったと聞きました。其のときは、どういう人達の集まりとは知りえませんでした、のちに高山西ロータリークラブの有志の集まりと聞いて、皆さん、どういう魚か知らずに食べさせられているんだと想像して、一人でニコニコしていました。この中で

10年以上前、ゲテモノ魚を食べた事に身に覚えのある会員が多数思い出していると思います。食べた方？手を挙げてください。

大物遠征釣りを最初始めたのは、飛騨アイランダーというクラブに所属していた訳で、新聞や市民時報にたびたび取り上げられていたので、皆さんも記憶の隅に聞いたことがあるとは思いますが。飛騨アイランダークラブの名誉会長、曙町の松川さんが亡くなりクラブの活動が停止して2年後頃、今から5年以上前になりますが、岩ちゃんが小笠原父島の臭くてもウマイ、あの「くさや」をなんとか食べたいと、何時も世話になっていた小笠原父島・釣り船の泰丸の荻倉船長（この時点75歳くらい）に送ってもらうように手配をしたそうです。そうしたら、一緒に1m余りある「おなが」と言う魚を送って来たので料理をしてくれと頼まれました。早速、正本の包丁、柳刃と出刃と自作の盛り付けの船を岩田家へ持参し料理する事になりました。「おなが」学名「ハマダイ」と言う魚はこちらでは全く馴染みがございませんが、小笠原漁師は、この魚が一番お金になるので我々には釣らしては貰えなかったのを記憶しております。小笠原諸島から東京築地に卸され、ほとんどが赤坂などの官僚が良く出入りしていたという、一席十万以上はかかるという超高級料亭で消費されますので、一般の消費者の口へは入りません。その超高級な魚を3枚おろしにして、半分を姿造りの刺身、半分を岩ちゃんが油で揚げて「あんかけ」にしました。料理が出来て時間になるとゲストが現れ、私を含めて6人、私以外は全員ロータリアンでした。その時のメンバーは 岩田さん、脇本さん、中村さん、井辺さん、中林さん、私でした。その時の「おなが」の味を覚えていますか？岩田家のお祭りの前倒し宴会には10回以上も行き、皆さんの顔は知っていた訳です。

美味しい魚とうまい酒に酔いしれ話も弾みました。釣りの話もしましたが、ほとんどがロータリーの話でしたので、其のとき私は蚊帳の外と言う感じで、何のこともやら、ちっとも面白くありませんでした。こんな面白そうなロータリーに、古い付き合いの岩ちゃんや、私の祖父（30年前逝去）「竹の助」とホテル飛騨時代親交のあった井辺さん、ましてや同窓生の中村さん、よく高信の経済クラブや駅前のカレー屋「弱尊」で会っていた脇本さん、仕事を貰っていた中林さん、なぜロータリーに誘ってくれんのかいと思いつつ、意を決して、この5人のロータリアンに「ロータリークラブに俺みたいなもんは入れてもらえんのかいな」と尋ねて見た所、最初に脇本さんが「入れる、入れるヨ、そやけど、ワシが会長を務める7月からな」と言われました。正直「待たされるのはイヤじゃ」と、よほど言おうかと思いましたが、結局入会を許されたのは其の日から4ヵ月後7月の例会からでした。その間岩ちゃんは会社へたまによって、「ほんとに入るのか」とか「入会金と年会費で30万以上はいるんやぞ」と心配して来てくれた事を覚えています。その後、岩ちゃんに「何で今まで10年以上もロータリークラブに誘ってくれなんだんえや？」と尋ねたら「オメが入るようなヤツとはまったく思わなんだでよー」との一言でした。

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

## 例会報告

言って置きますが、私がロータリアンにふさわしいとは、ただ一度も思った事はございません。しかしながら、人を見掛けで判断していると会員増強が困難で、せつかくの増強のチャンスを他のロータリークラブや、ライオンズクラブに油揚げをかつさわられる事になります。確かに私入会時は、口ひげにイヤリングをしていましたので見掛けは最悪でした。もちろん誰でもいいと言うわけではありません。口ひげにイヤリングみたいなヤツは止めたほうがいいと思いますが、廻りに見落としている有能なロータリアン候補がいないか、「取るにたらんヤツやなあ」と思っても、今一度見直して声を掛けてやってください。きっと、今か今かと待っている人物がいると思います。

ロータリーとの出会いエピソード1でございました。

### <ニコニコボックス>

#### ●斎藤 章さん

先週の納涼ゆかた例会、大変しい時間を過ごさせていただきました。親睦委員長以下メンバーの方ご苦勞様でした。久しぶりのホームです。本日の担当は会員増強委員会です。宜しくお願い申し上げます。

#### ●井辺 一章さん

1カ月がたちました。宜しくお願いします。

#### ●阪下 六代さん

本日は、会員増強委員会の担当例会ということで、委員の蜘蛛康介、遠藤隆浩、堀川和士の各氏が、順次、「自分にとってのロータリー」又は「会員増強にかける想い」をテーマに語ってくれることになっておりますので、よろしくお願ひいたします。会員増強は我々みんなの願ひです。

#### ●堀川 和士さん、新田 敬義さん

先週の納涼ゆかた例会は大盛況の内終了し大変ありがとうございました。親睦活動委員会としての3大事業、一つ終わりがれがれです。本日、会員増強スピーチよろしくお願ひします。

●野戸 守さん、米澤 久二さん、垣内 秀文さん、田中 正躬さん、ゆかた例会。親睦委員会の皆さんご苦勞様でした。

#### ●田近 毅さん

インターアクト年次大会は皆様のご協力で成功裡に終えることが出来、一日の大会としては大変良かったと、ガバナー他地区役員の方々に褒められました。昼の弁当も美味しかったと、お褒めを頂きました。皆さんに大変お世話になり、有難うございました。

#### ●寺田 昌平さん

①8月9日のインターアクト年次大会、西ロータリアンの皆様方の温かいご理解・ご協力を賜り無事終えることが出来、御礼申し上げます。ありがとうございました。②8月19日浴衣例会、楽しいひと時を過ごさせていただきました。少しだけ。

#### ●内田 幸洋さん

インターアクト年次大会では、当社のオレンジジュースをご利用下さいましてありがとうございました。

#### ●鍋島 勝雄さん

インターアクト年次大会に於いて、皆様方にご心配を掛けまして申し訳ありませんでした。無事終了出来ました。斎藤会長、田近委員長はじめ実行委員の皆様、ご苦勞様でした。ゆかた例会、中締めをさせて頂き盛大に終了、ご苦勞様でした。また野戸さん、いじめて頂き、今度仇を討ちます。

#### ●垂井 政機さん

各地に大雨による被害が広がっておるようで心配なことです。宮川の河川敷の散歩道も当分の間使えないようです。ところでソマリアの大干ばつ難民もまた心配な事です。世界のロータリアンは手助けをしないのでしょうか。

## ソフトミニバレー大会報告

8月28日(日)ビッグアリーナにて、第56回高山西ロータリー杯争奪高山市ソフトミニバレーボール選手権大会が行われました。第55回に引き続き、わが西クラブチームの出場は、お休みです。



開会式の様子

社会奉仕委員長による  
プレー開始のホイッスル



会長の祝辞

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために